

人権学習、保護者にも参加していただきました。

保護者のみなさんが参加できなかった参観日の人権学習の授業の後、おうちの人と授業で勉強したことをお話ししていただきました。授業で学習したことに、保護者のみなさんも真剣に向き合ってください子どもたちにとって、意味のある時間になったことがわかります。あらためて、子どもたちの学習の深まりを感じることができたこの学習の仕方。とてもよい学びになりました。今後とも、ご協力よろしく申し上げます。

保護者
から



1年生「いいところ見つけの花がさいたね」の学習でおうちのひとからの『ほめほめ』

いつもとてもいねいに字を書くことができるね。いろんなことをじぶんでかんがえて文を書いたり工作をしたりがとてもしょうずにできるね。たのしいことをかんがえたり、たくさんおはなしをしてくれるから、おかあさんはいつもあかるいきもちになるよ。ありがとう。

2年生「どのように伝えたらいいのかな」の学習

ワークシートを一緒にして、最後の振り返りの時に、「なぜ優しい言葉をかけるの？」と聞くと、少し考えて「お友達が傷つくから」と自分の言葉で答えてくれました。言い方、伝え方の大切なポイントをつかめていると思い、嬉しかったです。



3年生「子どもの権利条約について」の学習

みんなでカードを使って話し合ったり、友達の発想や意見に共感したりするのはとてもいいことだなと思いました。子どもも大人と同じく一人の人間として持っている権利を認められているはずなのに、それが守られていない現実に胸が痛くなることがあります。「子どもの権利条約」がきちんと守られ、悲しい思いをする子どもをなくしていける世界になってほしいと思います。

4年生「友達と仲良くなるために大切なこと」の学習(3学期)

・話し合いの結果がとてもしっかりしていて、お互いを思いやる気持ちをすごくもっていて成長を感じました。・家で話している事が外で守れているのだろうと感じることができました。「自分がされたり言われたらどう思う?」「こう言ってもらえたら嬉しいよな?」ということは話しています。

5年生「いろいろな人の感じ方や気持ちを理解しよう」の学習

ワークシートを見て、我が子なりに自分の考え、思っていることをしっかりと書いてあることにびっくりしました。自宅に帰ってからも子どもといろいろな話をしました。自分の考えや思いを持っていても、相手にうまく伝えられない人がいたり、どう接していけば良いのかわからない人もいること。自分ができるからといって、周りの人がみんなおなじような人ばかりではないこと。大切なのはそんな人達と接する時、自分がどういう対応をしてあげたらよいのか? どういう声かけをしてあげたら良いのかを考えることが大切だと話しました。これから先、たくさんの人と出会っていく中で、自分と違う感じ方をする人に出会ったとき、その人を否定するのではなく、「そんな感じ方もあるのか!!」と相手を認められるような人に一人でも多くの子どもたちがなれば良いなあとと思いました。そのためには、子どもたちを育てる私たち大人も少しずつ理解し、お互いを認められる社会になればと思います。

6年生「ハンセン病」の学習

恥ずかしながら、ハンセン病については、なんとなく目を背けてしまっていました。しかし、今回子どもと話すことで、私自身もこの病気は過去のことではなく、今からでもちゃんと知らなければいけない問題だとわかりました。私たちは、誤った情報に惑わされる事のないよう、同じ過ちを繰り返してはいけなく感じました。今、令和の時代でも新型コロナウイルスという問題に対し、ある国では権力をもった人間が隔離やロックダウンといった形で人権を侵害して世界から問題視されています。世の中が平等で差別のない社会になることを祈っています。